

## 平成23年度 冬の学習会



平成24年1月28日（土）、目の前に等身大の鉄人28号が見える新長田勤労市民センターで、冬の学習会を開催しました。午前の部、午後の部において、江副隆秀先生（学校法人江副学園 新宿日本語学校：校長）をお迎えして、講演が行われました。以下、参加者の感想を少しずつ紹介させていただきます。

### 参加者の感想

講演『見える日本語、見せる日本語  
—可視化させた日本語文法—』

江副 隆秀 先生

（学校法人江副学園 新宿日本語学校：校長）



江副先生のお話を伺い聴覚障害児に書記日本語を指導していく際に、ただ日本語文法をパターン化で教えていくと「助詞や主語をどう決めていくのか」などについて学習することが非常に難しいということが理解できました。日本語というものが、「主語」と「述語」といった文法で考えることの難しさや英語の「前置詞」と日本語の「後置詞」といったような文法による言語パターンも他の言語と大きく違うことも説明して頂き、とても分かりやすかったです。江副式のテキストや先生の著書も講演と一緒に見せて頂けたのでより理解しやすかったです。具体的な授業でどのように教えて行けば良いかヒントもたくさん頂きました。

普通学級の国語では文法が1年に1回、おまけのように出てくるだけです。日常会話では苦労しないので、ろうの子ほど苦労はないといえども、形だけの文法になっています。まとめて日本語の文法として教えておいて、もっと度々、文の形を意識させたり、くり返し文を書かせたりする練習があるので感じました。現時点での教科書文法とは違うので、悩んでしましそうです。でもありますが、「うち／中立／よそ」を表す言葉のとき、体の位置を使ってその言葉それぞれを使うところを一緒にしめすような、身ぶり、手ぶりをしながら話すことや「文化」としての日本語ということは、とても共感いたしました。「日本語ってこうなっていたのか！！」と新発見させていただきました。手話は上手でも書記日本語になると「なんでこうなった！？」とびっくりするような文を書く子どもがよくいるのですが、見える方法で教えていけたら、日本語を定着させていけそうだとわかってほっとしました。

貴重で楽しいお話を聞かせていただき、とても勉強になりました。小学部からではなく、幼稚部での保育の段階から見える日本語を提示していく必要があるのだなと感じました。日頃、幼稚部で子どもたちと言語の勉強をする時、助詞の使い方や文の組み立て方など困ることも多いのですが、今日教えていただいた視覚教材はとても役立ちそうです。動詞や名詞を色分けして示すこともすぐに試せる方法なので、他の先生方にも紹介して実践できたら良いなと思いました。

勉強になりました。名詞、動詞の違いが分からない段階の子どもたちに、どう教えていくかと考えながら・・・でも、できることは今日教わったことを参考にして、できることからやってみようと思っています。また、このような学習会を期待します。(新長田というのも来やすくよかったです)

学校でも”書く力をのばすため”にとりくんでいるので、文法(目で見ると)のお話し、とても参考になりました。先生のご講演をみんなで研修させて頂き、本校にあった指導をしていきたいと思えます。先生のお人柄(自分でボケとツッコミ)あたたかくて、ちょっと関西気質に合って、たのしく又充実した学習会でした。

以前、高等部の生徒に日本語検定の問題集を用いて授業をしたことがありましたが、助詞の使い方を中心に教え、「情報」と「述部」があつての助詞ということの観点が薄かったように思いました。今回、江副先生の講演を拝聴して、言語の成り立ちがあり「情報」「述部」にも重点を置き、今後指導しなければと思いました。機会があれば集中講座にも参加させていただきたいと思えます。

日本語について、(言語について)すごく研究された結果の指導法であることがわかりました。聞かない子への指導に使える所、使いたい所がありました。・品詞を意識させるために小さいころから色や形を決めて提示すること。・動詞や形容詞の活用の覚え方。・文の構造・・・助詞がどんな時に必要か。できることから始めてみたいと思えました。聴覚活用が良い子には情報がはんぎつになるかなと思ったりもします。

今日の内容は高度だったが、聾教育だけでなく、自閉症教育に生かせそうだと思えました。もっと内容を平易に、具体的にすれば、知的障害児教育にも活用できそうに思えます！日本語は不思議で面白いです。母語が一番ヘンテコだと思えます。



## 来年度の予定

平成24年度の予定が1月の代表委員会で審議されました。

平成24年 5月 9日(水) 第1回代表委員会(大阪市立聴覚特別支援学校)

平成24年 8月20日(月) 第2回代表委員会・準備

21日(火) 第14回講演会・講習会

(午前:講師 中川 信子 先生:大阪府社会福祉会館5F501)

(午後:生野聴覚支援学校)

22日(水) 第14回講演会・講習会(1日:生野聴覚支援学校)

11月 3日(土) 秋の講演会

(講師 澤 隆史 先生:大阪府社会福祉会館4F401)

平成25年 1月25日(金) 第3回代表委員会・専門研修会(会場未定:和歌山)

1月26日(土) 冬の学習会(会場未定:和歌山)

近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局

事務局長 中井 弘征

〒639-1122

TEL: 0743-56-2921

奈良県大和郡山市丹後庄町456

FAX: 0743-56-8833

奈良県立ろう学校内

メール: kinki02062@hotmail.co.jp